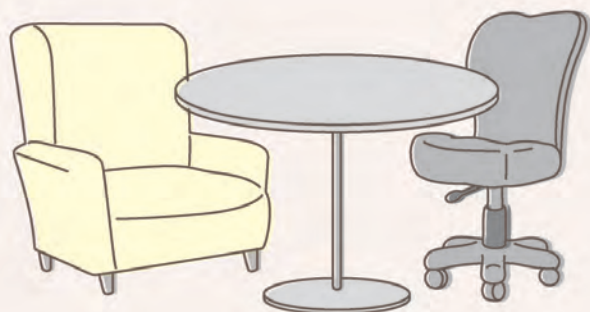


## カウンセリング研究室の取り組み

カウンセリング研究室では、2022年度もこれまでと同様に、地域の皆様や学園関係者を対象に、心理面接を主とする相談業務を行っています。面接の担い手は、昨年度までと同様に、心理相談員、臨床心理学を専門とする教員、そして、本学大学院生活科学研究科心理学専攻に所属する大学院生です。なお、大学院生による面接は、心理職になるための実習に位置づけられますので、実習担当教員の指導のもと行われています。

あわせて、カウンセリング研究室では、本学所属の大学生を対象に心理面接を行い、学生生活のサポートを行っています。大学生の相談については、相談に来た学生が安心して相談することができるように、教員や大学院生は関与せず、心理相談員のみが担当することになっています。

2023年度には、旧カウンセリング研究所の建屋から別校舎の一角に場所を替えるなど、リニューアルを控えています。これを機に、これまでの歴史を継承しつつも、よりよき支援活動のための体制づくりに取り組んでまいります。



## 茨城県立高萩高等学校におけるキャンパスエイド活動

カウンセリング子育て支援センターの管轄のもと、茨城県立高萩高等学校でのキャンパスエイド活動が行われています。2022年度は、生活科学心理福祉学科の学生(3年生・4年生)16名がキャンパスエイドとして高萩高等学校を訪問し、高校生の学校生活の支援に取り組んでいます。学生たちは、生徒との歓談や遊び、見守りなどをとおして、生徒への心理的支援を実践しています。

日々のキャンパスエイド活動は、学生の自主的、自律的な取り組みにより運営されています。そうした学生の活動に対して、センター所属の実践研究員である教員4名がサポートにあたっています。また、活動に関わる教員や学生は、キャンパスエイド活動に関する研究にも精力的に取り組んでいます。

活動にあたっては、高萩高等学校の先生方のご理解

とご協力を得ています。高校の先生方との意見交換や情報共有は、活動の質向上のためにも、学生の学びにおいても貴重な機会となっています。

2022年度でキャンパスエイド活動は5年目を迎えました。次年度以降も、今までの実績を活かし、よりよき活動を目指します。



## カウンセリング研究室

### 開室時間

月～金 9時～16時半

※土・日曜日、年末年始、大学休講日はお休みです。  
また、大学の長期休暇期間は特別日程となります。  
ご希望の方は、直接、カウンセリング研究室にお問い合わせください。

### 申込方法

予約制です。電話でお申し込みください。

TEL.0294-52-3215(内線 3280)

### 料金

初回面接 4,000円

個別面接 2,000円～5,000円

家族面接 5,000円

心理検査 1,000円～5,000円

\*健康保険の適用はありません。  
\*本学圏の学生・生徒は無料です。  
\*公認心理師養成課程の大学院生が陪席あるいは担当することもあります。  
\*医療機関を受診されている方は、主治医とご相談の上、お申し込みください。

### アクセス



常磐線大甕駅隣接  
常磐自動車道/日立南太田I.C.より6分

### 相談までの流れ

お電話でのお申し込み  
TEL.0294-52-3215 (代表)

まず、お電話で簡単にお話をうかがいます。  
確認事項がありますので、  
10～20分ほどお時間をいただきます。

初回面接の日時調整

担当のカウンセラーによる初回面接を行います。  
大学院生が同席させていただく場合があります。

当室にてお受けする場合  
担当者決定

当室にてお受けできない場合  
他機関への紹介

### カウンセリング子育て支援センター 案内図



茨城キリスト教大学  
カウンセリング子育て支援センター ニュースレターNo.1

2023年3月30日発行

発行元

茨城キリスト教大学 カウンセリング子育て支援センター  
〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL.0294-52-3215(代)

2022年度

# 茨城キリスト教大学 カウンセリング子育て支援センター ニュースレター No.1

## 子育て支援講座

### 子育て支援室「アンネローゼ」主催講座

- 1 前向き子育てプログラム トリプルP
- 2 完璧な親なんていない(NP)プログラム
- 3 ワーキングマザー講座
- 4 スター・ペアレンティング・プログラム
- 5 プレイグループ「クローバー」

### 地域・国際交流センターとの共催講座

- 6 夏休み子どもアンネローゼ
- 7 アンネローゼ広場

## 日立市と協働した市内保育園等の巡回支援

## カウンセリング研究室の取り組み

## 茨城県立高萩高等学校における キャンパスエイド活動





## 子育て支援講座

## 子育て支援室「アンネローゼ」主催講座

### ①前向き子育てプログラム トリプルP

日時：2022年5月20日(金)～7月8日(金)  
午前10時～12時 全8回

担当：菅野 ひろみ(本学兼任講師)

お子さんへのかかわり方について理論と技術の両面から楽しく学びます。

#### 参加者の声

- 子育てをしていくうえで子どもの問題行動への対処法やなぜそうなるかなどとても勉強になった。
- 現実的な期待を持つことで私自身のイライラが減り、子どもとの関係が今までより良くなった。



### ②完璧な親なんていない(NP)プログラム

日時：2022年9月26日(月)～10月31日(月)  
午前10時～12時 全6回

担当：萱場 晶子(NPNC認定ファシリテーター・児童指導員)

ファシリテーターのもとでお子さんと離れて、子育てについてゆっくり語り合います。

#### 参加者の声

- とても楽しくて、2時間があっという間でした。また参加したいです。
- 同世代のお子さんを持つ親御さんたちのお話を聞いて自分だけじゃないと思えるのが良かったです。



### ③ワーキングマザー講座

日時・担当：

2022年11月8日(火)

萱場 晶子(NPNC認定ファシリテーター・児童指導員)

11月15日(火)、11月22日(火)

村田 孝二(NPO法人学修デザイナー協会前理事長)

11月29日(火)

高村 浩子(ファイナンシャルプランナー)

午前10時～12時 全4回

講師や参加者と共に、将来や家計について考えます。

#### 参加者の声

- マインドマップで自分の中でモヤモヤしていた頭がスッキリしました。家計管理については将来の具体的なイメージが出来るようになり、良かったです。
- 仕事復帰してからも使える知識を学ぶことが出来たので、仕事復帰に希望がみえてきました。
- 考え方のヒントや他のママさんの実践例や工夫が分かり、実りのあるものとなりました。



### ④スター・ペアレンティング・プログラム

日時：2022年11月28日(月)～2023年1月23日(月)  
午前10時～12時 全4回

担当：中島 美那子(児童教育学科教員)

親としてぶつかる問題のさまざまな解決方法について考えます。

#### 参加者の声

- 一人ひとりの意見を尊重して下さっていてリラックスしてプログラムに参加できました。
- 2～4人グループの少人数で話しやすかった。
- 他の参加者の方のアイデアを知れて生活に取り入れられた。受講者がわかるころまで噛み砕いてくれた。例や説明がわかりやすかった。



### ⑤プレイグループ「クローバー」

日時：2022年10月14日(金)～2023年2月10日(金)  
午前10時～12時 全14回

担当：中島 美那子(児童教育学科教員)

菅野 ひろみ(本学兼任講師)

かわり方や育て方に工夫の必要なお子さんとその保護者向けの親子教室です。

#### 参加者の声

- 終了して何よりも大きく変わったのは、子どもではなく親である自分自身でした。子どもとのかわりに余裕が持てるようになりました。
- 毎回、子どもが参加を楽しみにしていました。
- 参加者みなさんのがんばりに刺激を受けました。



## 地域・国際交流センターとの共催講座

### ⑥夏休み子どもアンネローゼ

日時・担当：

2022年8月8日(月)

佐々木隆宏(児童教育学科教員)

穂積 訓(児童教育学科教員)

9日(火)

中山 健一(文化交流学科教員)

小西 優子(食物健康科学科教員)

10日(水)

高橋 和将(児童教育学科教員)

午前9時30分～午後12時45分 全3回

日替わりのテーマを通して、大学教員、保育士、学生と一緒に時間を過ごす、小学生向けの講座です。

#### 参加した小学生の保護者の声

- 「3日間、毎日すべてのプログラムが楽しかった。つまらなかった時間なんて全然無かった」と話してくれました。
- 「全ての講座どれもとても楽しかった」と話してくれました。中でも留学生との交流が一番楽しかったとの事です。



### ⑦アンネローゼ広場

日時・担当：

2022年5月17日(火)

清水 悦子(児童教育学科教員)

6月7日(火)

原口なおみ(児童教育学科教員)

10月18日(火)

若林千津子(看護学科教員)

10月27日(木)

菅野ひろみ(本学兼任講師)

午前10時～12時 全4回

それぞれの大学教員の専門をもとに、テーマに沿っておしゃべりします。

#### 参加者の声

- 口の周りの筋肉を鍛える遊びや子どもの興味の逸らし方を具体的に知ることができた点がよかった。
- 言葉掛けについてとても参考になりました。特にメディア漬けが良くないが、ストレスを溜めながら家事も進まないよりは上手く活用出来たら良いなど、ママ達の気持ちに寄り添った解答がとても良かったです。



## 日立市と協働した市内保育園等の巡回支援

2020年度に日立市の業務委託を受け、  
カウンセリング子育て支援センター子育て支援室では日立市の保育園等の巡回を行う巡回支援専門員整備事業を実施しています。

巡回支援専門員整備事業とは、厚生労働省における発達障害者支援施策の一つとして2011年に始まった事業であり、「発達障害等に関する知識を有する専門員が保育所等の子どもやその親が集まる施設・場への巡回支援を実施し、施設等の支援を担当する職員や親に対し、障害の早期発見・早期対応のための助言等の支援を行う」ことが事業内容となっております。

誰もが差別されることなく過ごすことができる共生社会の実現のためにインクルーシブな保育・教育が実践されている中、発達障害やその傾向のあるいわゆる気になる子は通常の保育園等に多数在籍しています。そうした気になる子が在籍園において他の子どもと楽しく伸び伸びと生活を送るために必要な支援は何か、小学校等への就学に向けて今必要な準備は何か、主として担任の先生にアドバイスを行っています。

巡回支援の最大の特徴は実際に該当の幼児を観察し、その様子からその子の特徴を見出すことです。これはその子の困っている行動だけではありません。例えば中々じっとしていられない子どもでも絵本の読み聞かせは興味津々で話を聞いている、具体的な遊びは取り組むことが出来るなどの様子が見られることがあります。こうしたケースの場合は視覚的なもの、見て分かりやす

いものへの理解は高いことを表しています。こうしたその子ならではの強みを見つけていくこともまた大事なポイントです。

これまで2020年度から2022年度までの3年間で22園ほどの保育園等の巡回を実施してきました。原則年3回の巡回であり、2年までは継続利用することが可能であるため、実際に訪問している園は2020年度が8園、2021年度が15園、2022年度が14園であり、トータルで37園となります(図1)。発達障害等の支援においては早期からの一貫した支援が重要になります。茨城キリスト教大学は「地域に根ざし、地域とともに歩む」ことを掲げています。本事業を通して日立市の子育て支援がより充実したものになるように取り組んでまいります。

